

#928 Smart Construction®で安全に工数を削減



■ ■ 現場詳細 ■ ■ 栃木県日光市

洪水被害を防ぐため川底に堆積した土砂を撤去する工事

【施工範囲】 約14,700m² 【施工土量】 掘削 約7,000m³

【稼働建機】 PC200i

【ソリューション】 Smart Construction Dashboard/Smart Construction Fleet/ペイロードメーター/ドローン測量

(掲載月：2024年4月)

施工精度とサポートに期待しコマツを選択



水中部もPC200iで簡単、安全に



■ ■ 導入経緯 ■ ■

(株)野澤實業 工事部 主任 白井英寛さん

当社は以前よりICT活用工事に積極的に取り組んでいて、私自身もICT施工の経験がありました。

しかし、今回の施工では施工面を目視できない水中掘削を予定していたため、施工の管理方法について懸念していました。

そこで、施工履歴データによる出来形管理の実施を検討し、高い施工精度と、手厚いサポート体勢に期待してコマツのSmart Construction®とICT建機の導入を決めました。

■ ■ 導入効果 ■ ■

(株)野澤實業 工事部 主任 白井英寛さん

懸念していた水中掘削部に対応するため、施工履歴データによる出来形管理を実施し、施工箇所のヒートマップを用いることで、当該箇所の計測作業を簡略化できました。

そして、PC200iでの施工は基本的に丁張りが不要だったため、その工数も削減できたことに加えて、建機周辺での作業が減ったことで建機との接触リスクの低減にもつながりました。

施工結果もSmart Construction Dashboardで事務所のパソコンから簡単に確認できたので進捗管理が楽になりました。

また、今回土砂の搬出にあたりスケールを設置せず、ペイロードメーターを使用しました。建機のオペレーターが積込時に土砂の積載重量を確認することで過積載の防止ができ、安全なダンプ運航につながりました。

(株)野澤實業 様

当社は、「この美しい地球を後世に残す」を基本理念とし、地球環境に配慮した環境負荷の継続的低減に努めると共に、常に顧客の視点に立ち、競争力のある技術・サービス・コスト・スピード・安全を追求し、地球社会の発展に貢献する。



工事部 主任 白井英寛 さん